

単元名

原のまちづくりサミット～原のまちづくりについて提案しよう～

本単元で育成する資質・能力

郷土愛

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

コミュニティデザインに関する内容を読み取る。

C : 【つながり】

読み取った内容と原のまちづくりを結び付けて考える。

E : 【応用・ひろがり】

自分の考えたまちづくりについて地域に発信する。

児童の実態

★ 地域の方々と協働して活動し、地域の一員としての自覚をもっている児童は少ない。

- 自分の考えを話すときに、相手に伝わるように構成を工夫したり、資料を活用したりすることに自信をもっている児童は65%である。 —①
- 提案するためにプレゼンテーションをするという経験はない。 —②
- ③

教材について

○ まちづくりについての事例や考え方が書かれた説明文である。

→ まちづくりについての自分の考え方を広げ、深めることができる。

○ 構成が分かりやすく、資料が活用されている説明文である。

→ 自分の考えを述べる時の構成や、どんな資料をどのように活用するのかについて参考にすることができる。

○ プレゼンテーションの原稿例がある。

→ 資料を活用した分かりやすい説明の仕方を学ぶことができる。

育成したい資質・能力と目標 ★【資質・能力】 ○国語科◎国語科重点目標

★ 自分の地域の特性を理解し、地域の一員として貢献を意識して活動に取り組むことができる。 【郷土愛】【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル4】

- 自分たちの町の未来に関心を持ち、教材文や本、資料を読んで調べ、自分の考えを相手に伝えようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- 考えたことや伝えたいことから自分たちが提案することを決めて取材し、収集した知識や情報を関係付けることができる。 【話すこと・聞くこと ア】
- ◎ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話すことができる。 【話すこと・聞くこと イ】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすることができる。 【読むこと ウ】
- 目的に応じた文章の構成について理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(キ)】

単元を貫く言語活動とその特徴

「原のまちづくりについて地域の方にプレゼンテーションで発信する」活動を設定する。プレゼンテーションは、聞き手に分かりやすく伝えるために、情報を収集し、話の構成を工夫したり、資料を活用したりして説得力をもたせ、適切な話し方をすることが求められる。自分の考えをプレゼンテーションにまとめるために必要な情報を収集したり、構成を考えて原稿を作ったり、必要な資料を作ったりすることができるものとする。

指導のポイント

- ① 地域の方からの依頼に応え、まちづくりに参画するという活動を通して自分も地域の一員であるという自覚をもたせる。
- ② 地域の方に原の未来の姿についての自分たちの考えを明確に伝えるという相手意識や目的意識をもたせる。
- ③ 実際のプレゼンテーションを聞く場を設定したり、教材文を使ってプレゼンテーションの作成の仕方を学ばせたりする。

2 単元の評価規準

資質・能力 【郷土愛】	★ 自分の地域の特性を理解し、地域の一員としてよりよいまちづくりに貢献するために、主体的に活動に取り組んでいる。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル4】		
国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 原の町の未来に関心を持ち、教材文や本、資料を読んだりインタビューしたりして調べ、自分の考えを相手に伝えようとしている。	○ 原のまちづくりについて、収集した情報の内容を比較・分類して提示する資料や内容を選んでいる。(ア) ◎ 提案内容が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用、図解したりするなど構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話している。(イ)	○ プレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら読んでいる。(ウ)	○ 聞き手に分かりやすいプレゼンテーションの構成について理解している。(キ)

3 単元の計画 (全12時間)

次	時	学 習 内 容 ◎総合的な学習の時間	評 価			
			関	話 聞	読 言	★資質・能力の評価規準 (評価方法) ○教科の評価規準 (評価方法)
単 元 前		課題設定 (2) ◎ まちづくりセンターより、「まちづくりのアイデアが欲しい」という依頼を受け、まちづくりについて調査する。 (総合的な学習の時間)				
	1	1 ・ プレゼンテーションの具体例 (東京五輪招致のもの) から、学習のゴールの姿のイメージをもつ。 ・ まちづくりの考え方を学ぶという目的意識をもって教材文を読む。 情報の収集 (3) 2 ・ 筆者が述べていることを文章の構成に沿って整理し、「町の幸福論」でプレゼンテーションのスライドを作る。	○			○ 原のまちづくりについてプレゼンテーションで提案することに意欲をもっている。 (ノート・児童観察)
	3	◎ 「町の幸福論」や調査したことを基に、「未来の原の姿」と提案内容を決定する。			○	○ プレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨や文章構成を捉え、自分の考えを明確にしながらかいている。 (手書きのスライド・児童観察)
	4	・ 自分たちの考えを明確に伝える情報の内容や資料を選択する。				○ 原のまちづくりについて、収集した情報を比較・分類して提示する資料や内容を選んでいる。 (ワークシート・児童観察)
2	整理・分析1 (2) ○ 教材文「町の幸福論」を基に、自分たちが考えたまちづくりについて手書きのプレゼンテーション資料を作成する。 5 ・ はじめの「発表の流れ」部分を作成する。 6 ・ どんな資料を入れるかを考える。		◎			○ 提案内容が明確に伝わるように、提案とのつながりを意識してプレゼンテーションの構成を工夫している。 (手書きのスライド・児童観察) ○ 聞き手に分かりやすいプレゼンテーションの構成について理解している。 (ホワイトボード・児童観察) ★ 自分の地域の特性を生かしたプレゼンテーション資料作成に取り組んでいる。 (ノート・児童観察)
3	7	まとめ・創造・表現1 (3) ・ 発表原稿を書く。			○	○ 提案内容が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用、図解したりするなど構成を工夫して発表原稿を書いている。 (発表原稿)
	8	・ プレゼンテーション資料を基に発表練習を行う。			○	○ 提案内容が明確に伝わるように、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話している。 (ビデオ・児童観察) ★ 地域でまちづくりに取り組んでいる方の意見を取り入れながら活動に取り組んでいる。 (「ふり返り」の記述・児童観察)
	9	◎ まちづくりセンターの方、呉高専の方に発表を聞いていただき、アドバイスをいただく。				○ 提案内容がより明確に伝わるように、構成を工夫し、資料を生かして発表原稿を修正している。 (発表原稿)
	10	整理・分析2 (1) ・ プレゼンテーション資料や発表原稿の修正を行う。			○	○ 提案内容がより明確に伝わるように、修正点を生かして、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話している。 (ビデオ・児童観察)
	11	まとめ・創造・表現2 (1) ・ まちづくりセンターで「原の町づくりサミット」を開催し、プレゼンテーションを使って地域の方々に自分たちの考えを伝える。			○	★ 自分の地域の特性を生かし、地域の一員として貢献を意識して活動に取り組んでいる。 (「ふり返り」の記述・児童観察)
12	ふりかえり (1) ・ 単元を振り返って、自分の考えを書く。					
単 元 後		◎ 提案内容を実行させる計画を立てる。				

4 本時の展開 (本時1/12)

(1) 本時の目標

- 原のまちづくりについてプレゼンテーションで提案することに意欲をもって取り組もうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)		
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間で取り組んでいる「原のまちづくり」について、どのように伝えていくかを話題にする。 ・ 東京オリンピック招致のプレゼンテーションの動画を見せる。 ・ プレゼンテーションの役割について知らせる。 ・ 教科書教材の「構成メモ例」をプレゼンテーションで提示する。 			
	自分たちの町づくりの参考になりそうなことを見付けて読もう。				
考える 深める	2 教材文から、参考になりそうなことを見付けながら読む。 3 全体交流をする。 (児童の発言例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考になりそうだと思うところにサイドラインを引かせる。 ◆ 自分たちのまちづくりと比べて考えられるように視点を与える。 ・ グループで話し合い、出された意見を短くキーワードでまとめさせる。 ・ 「筆者の考え方」「筆者の説明の工夫」という視点で意見を分類しながら、整理して板書していく。 			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【筆者の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と人がつながる仕組みを作る ・ 住民が主体的に町作りに取り組む ・ 地域の課題を解決する ・ 未来のイメージを持つ ・ バックキャストイング </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【筆者の説明の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図やグラフを使っている ・ 数値を入れる ・ 他のまちづくりの事例を入れる ・ 呼びかける述べ方を使う </td> </tr> </table>		【筆者の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と人がつながる仕組みを作る ・ 住民が主体的に町作りに取り組む ・ 地域の課題を解決する ・ 未来のイメージを持つ ・ バックキャストイング 	【筆者の説明の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図やグラフを使っている ・ 数値を入れる ・ 他のまちづくりの事例を入れる ・ 呼びかける述べ方を使う 	
【筆者の考え方】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と人がつながる仕組みを作る ・ 住民が主体的に町作りに取り組む ・ 地域の課題を解決する ・ 未来のイメージを持つ ・ バックキャストイング 	【筆者の説明の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図やグラフを使っている ・ 数値を入れる ・ 他のまちづくりの事例を入れる ・ 呼びかける述べ方を使う 				
まとめる	4 全体交流を基に、参考になりそうなことをまとめる。 5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちのまちづくりやプレゼンテーションの参考になりそうなことをまとめさせる。 ・ 今後のまちづくりやプレゼンテーション作成に対する思いを書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原のまちづくりについてプレゼンテーションで提案することに意欲をもって取り組もうとしている。(ノート・児童観察) 		

本時の展開 (本時 2/12)

(1) 本時の目標

○ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉え、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 【読むこと(ウ)】

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時で見た教科書教材の「構成メモ例」の「まとめ」を提示する。 教科書教材文を発表原稿と見立て、プレゼンテーションの「まとめ」のスライドを作成することを確認する。 	
「町の幸福論」の筆者の主張を読み取り、「まとめ」のスライドを作ろう。			
考える 深める	2 教材文で、序論・本論・結論を大きく捉える。 3 筆者の主張を読み取る。 4 全体交流をする。 (児童の発言例)	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の全文シートを用意して考えさせる。 ◆ 接続詞やナンバリングの言葉に基づき、段落構成を考えられるようにする。 <div data-bbox="746 846 1161 1025" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>では、 まず、 一つ目の例は、 二つ目の例は、 この二つの事例のように、 このように、</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 結論から筆者の主張にサイドラインを引かせる。 ◆ 筆者の一番言いたいことに線を引くように助言する。 文末表現に着目させるようにする。 ペアで話し合い、互いの考えを交流させる。 	
未来の町の姿をえがき、その姿に向かいながら主体的に町作りに取り組むとき、本当に豊かな「町の幸福」が生み出される。			
まとめる	5 プレゼンテーションの「まとめ」のスライドを作る。 6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 全体交流で出された意見の板書を見ながら考えるように助言する。 筆者の主張に対する自分の考えや、自分たちのまちづくりに対する考えの参考になりそうなことについて書かせる。 	○ プレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉え、自分の考えを明確にしながら読んでいる。 (手書きのスライド・児童観察)

本時の展開（本時3/12）

（1）本時の目標

- 目的に応じて、筆者の主張につながる文章構成を捉え、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 【読むこと（ウ）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書教材の「構成メモ例」の「発表の流れ」を提示する。 教科書教材文を発表原稿と見立て、プレゼンテーションの「発表の流れ」のスライドを作成することを確認する。 	
	「町の幸福論」の文章構成をとらえて「発表の流れ」のスライドを作ろう。		
考える 深める	2 プレゼンテーションを見通して読み、本論1・2の内容を捉える。 3 教材文全体の構成をスライドにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 本論1が「住民が主体的に町作りに取り組むこと」に対する二つの事例の内容であることを押さえ、それぞれの内容を捉えさせる。 本論2が「未来のイメージをえがくこと」に対する事例であることを押さえる。 ◆ 三つの地域の事例が、コミュニティデザインにおけるどのようなことを説明している事例であるかということ全文シートにより理解できるようにする。 ・ 「構成メモ例」を基に、上位項目と下位項目を書き分けることを伝える。 ◆ 板書を参考にしてよいことを助言する。 	
まとめる	4 学習のまとめをする。 (まとめの例)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな町の未来とは 2 地域の住民たちが主体的に町作りに取り組む 事例1 栃木県益子町の土祭 事例2 兵庫県三田市有馬富士公園 3 未来のイメージを持つ～バックキャストイング 事例3 島根県海士町 4 まとめ 本当に豊かな「町の幸福」を生み出す </div>	
	5 自分たちの町づくりのプレゼンテーションの構成を考える。 6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の構成に対する自分の考えを書かせる。 自分たちのプレゼンテーションに入りたい項目について考えさせる。 教材文の構成を生かして、自分たちの発表にどう生かすかということを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ プレゼンテーションのスライドを作るという目的に応じて、筆者の主張につながる文章構成を捉え、自分の考えを明確にしながら読んでいる。 (手書きのスライド・児童観察)

本時の展開（本時4/12）

（1）本時の目標

- 提案内容が明確に伝わるように、収集した情報を比較・分類して提示する資料や内容を選ぶことができる。 【話すこと・聞くこと（ア）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間に行う中間報告会に向けて、現在収集した情報の中から提示する資料や内容を選ぶことを確認する。 	
	中間報告会で報告する「まちづくりの提案につながる」資料や内容を選ぼう。		
考える 深める	2 各自が収集した情報を付箋に短くまとめて書く。 3 班で説明を加えながら、自分が収集した資料や内容を紹介する。 4 収集した情報を分類して、まとめていく。 5 班で収集した情報の中から、提案の内容にふざわしい資料や内容を選ぶ。 (児童発言例)	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報のメモやワークシートの内容から「まちづくりの提案につながる」というキーワードを書かせるようにする。 必要に応じて、質疑応答をさせる。 キーワードを基に、その情報の具体的な内容を知らせるようにする。 似ている情報をKJ法でまとめていくようにする。 写真や図表、グラフなど資料として用いるものについても、候補を挙げさせておく。 必要に応じて、情報収集の途中の段階のものや、収集予定のものも入れてもよいことにする。 ◆ たくさんの情報の中から「まちづくりの提案につながる」という視点で判断して取捨選択させる。 	
	「地域」取材グループ アンケート結果 「原のまちに満足している」 ○○地区 YES：11人 NO：1人（ごみがある）→ごみの調査をしてみる ごみがあれば写真をとる ◇◇地区 YES：4人 NO：4人 →調査人数を増やす 人数が分かりやすいようにグラフにする ◎ 地域の人はまちに対してどのような思いをもっているかという情報は提案につながる		
まとめる	5 班で選択した情報について、ワークシートに整理して書く。 6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告会で発表できるように準備をさせておく。 今後、友達の情報を聞いて思ったこと、更に情報収集したいことやどんなまちにしていきたいかということについて現時点で考えていることを書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原のまちづくりについて、提案内容が明確に伝わるように、収集した情報を比較・分類して提示する資料と内容を選んでいく。 (ワークシート・児童観察)

4 本時の展開 (本時5/12)

(1) 本時の目標

★ 自分の地域の特性を生かしたプレゼンテーション資料作成に取り組むことができる。

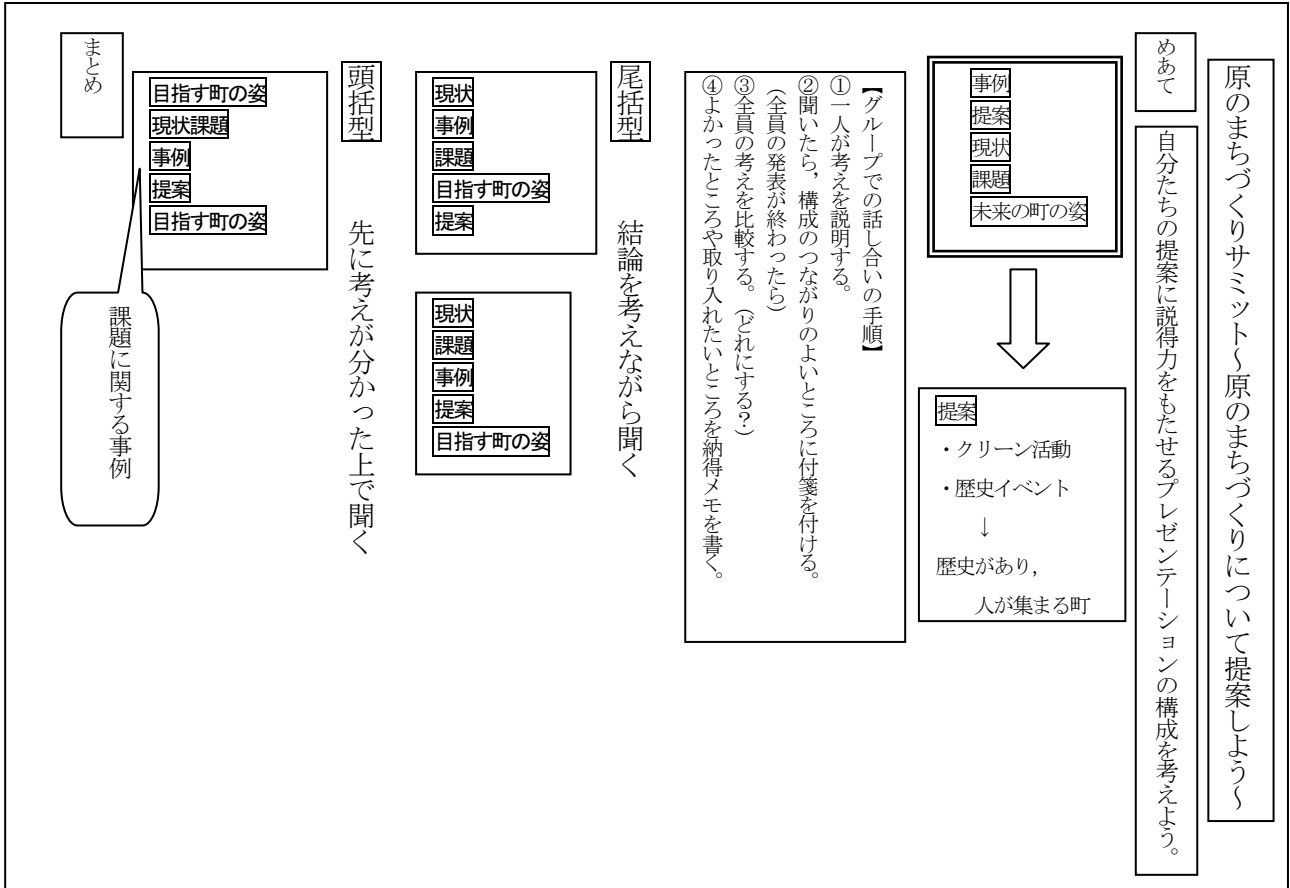
【資質・能力／郷土愛】

○ 提案内容が明確に伝わるように、提案とのつながりを意識してプレゼンテーション資料の構成を工夫することができる。
【国語科 話すこと・聞くこと (イ)】

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ★資質・能力 ○教科の指導事項 (評価方法)
つかむ	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>(教科書P142 資料①)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発表の進め方</p> <p>1 始めの言葉</p> <p>2 事例① にここ公園 (東京都)</p> <p>3 事例② あおぞら公園 (長野県)</p> <p>4 現状の問題点</p> <p>5 わたしたちの提案</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 一次で見たプレゼンテーション資料の具体例 (教科書P142 資料①) を示す。 プレゼンテーション資料の「提案」部分を確認し、その「提案」につながる流れを考えると意識をもたせる。 (「提案」部分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「歴史を大切にし、人が集まる町」にするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン活動 ・歴史イベント <p>をする。</p> </div>	
<p>自分たちの提案に説得力をもたせるプレゼンテーションの構成を考えよう。</p>			
考える 深める	<p>2 プレゼンテーション資料の構成を考える。</p> <p>(1) 構成が似ているグループで話し合う。</p> <p>(2) 構成が異なるグループで話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人の考えをもたせておく。 「提案」に説得力をもたせるために、どのような事柄や事例をどのような順序で構成すればよいかを考えさせる。 ◆ これまで学習した「説得力のある文章の書き方」を想起させて参考にさせる。 友達の説明を聞き、事柄や事例と「まとめ」がつながっているかどうかという視点で話し合わせる。 	
まとめる	<p>3 全体交流を基に、プレゼンテーションの構成をよりよいものにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめる例</p> <p>発表の進め方</p> <p>1 わたしたちがえがいた未来の原の町</p> <p>2 町づくりの事例 2つ</p> <p>3 現状 課題と願い</p> <p>4 提案</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「まとめ」とのつながりについて説明させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>観 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①内容 (項目) ②順序 ③全体の流れ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>③良いイメージから課題→提案があると説得力がある。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①現状の課題 (人が集まりにくい) はあった方が提案につながる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①事例は2つはあった方がよい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>②成功事例の後に課題があると説得力が出る。</p> </div>	<p>★ 自分の地域の特性を生かしたプレゼンテーション資料作成に取り組んでいる。 (ワークシート・児童観察)</p> <p>○ 提案内容が明確に伝わるように、提案とのつながりを意識してプレゼンテーション資料の構成を工夫している。 (ホワイトボード・児童観察)</p>
	<p>4 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 構成を基に、より説得力をもたせるために、発表原稿に入れたい資料や内容について触れて振り返りをさせる。 	

5 板書計画



6 資質・能力のICEルーブリック【郷土愛】

	I : 考え, 基礎知識	C : つながり	E : 応用, 広がり
「原小学校 資質・能力ルーブリック」より	【発見】 自分の地域のよさや課題に気付き, どんなまちづくりをしたいかという考えをもっている。	【提案】 レベル4 自分の地域の特性を理解し, 地域の一員として貢献を意識して活動に取り組んでいる。	【参画】 レベル5 自分の地域と, 他地域や海外とのつながりを理解し, 外からの視線を意識して活動に取り組んでいる。

本時の展開（本時6/12）

（1）本時の目標

★ 自分の地域の特性を生かしたプレゼンテーションの資料を選択することができる。

【資質・能力／郷土愛】

○ 提案内容が明確に伝わるように、適切な資料を考えることができる。

【話すこと・聞くこと（イ）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の「構成メモ例」や話例などをもとに、提案の内容や事例の取り上げ方、資料の用い方を押さえる。 資料にはどんなものがあったか、既習の内容を確認する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">提案内容に説得力がある発表になるように必要な資料を考えよう。</div>			
考える 深める	2 グループで集めた情報を観点ごとに整理し、どの内容を取り上げるのかを話し合う。 3 全体交流をして、提案の内容にふさわしい事例を決定する。 4 グループごとに、説明に必要な資料を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報をホワイトボードを使って、観点ごとに整理させる。 ◆ まず、集めた情報を個人で短冊に書かせる。 集めた情報の中から、提案の内容にふさわしい内容を選ばせる。写真や図表、グラフなど、資料として用いるものについても、候補を挙げさせておく。 各グループから出された情報を基に、収束的な話し合いになるようにする。 「未来の町の姿」と「提案の内容」を関連付けるために、用いる資料を考えるよう意識付ける。 不足している情報や資料があれば追加して調べさせる。 	
まとめる	5 資料を入れた手書きのスライドをかく。 6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を入れて、自分の担当のスライドを作る。 提案に関係のある内容や資料に絞って説明するよさに気付かせるようにする。また、その資料があることで、どのような効果があるかということについても振り返らせるようにする。 	○ 提案内容が明確に伝わるような効果的な資料を選択している。 (手書きのスライド・児童観察) ★ 元の地域の特性を生かした資料を選択している。 (ノート・児童観察)

本時の展開（本時7/12）

（1）本時の目標

- 提案内容が明確に伝わるように、構成を工夫して発表原稿を書くことができる。

【話すこと・聞くこと（イ）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で書いたスライドの下書きをもとに、発表原稿を考えることを確認する。 	
	資料を使ってより説得力のある発表原稿を書こう。		
考える 深める	3 考えた構成と選択した資料を基に、発表原稿を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成を確認し、意見と根拠や理由との関係や、資料の用い方、文末表現などに気を付けて書くようにさせる。 ◆ 既習の内容を掲示物で確認できるようにする。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えや意見 <ul style="list-style-type: none"> ・～と思います。 ・～と考えます。 ・～ではないでしょうか。 ○ 資料から分かる事実 <ul style="list-style-type: none"> ・この資料は～ということを表しています。 ・この資料からは～ということが分かります。 ○ 自分以外の人の考えや意見 <ul style="list-style-type: none"> ・～だそうです。 ・～だと考えられています。 ・～だといわれています。 <p>◆ 説明が不足している箇所を指摘したり、使うとよい言葉や表現を示したりする。</p>	
まとめる	4 完成した発表原稿を読み返し、推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時に友達と文章を読み合うことを予告して、文章を読み返させ、意見と事実との関係や資料の用い方、表記や表現などについて、必要があれば書き直したり書き足したりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提案内容が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用したり、図解したりして発表原稿を書いている。 (発表原稿・スライド)
	5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の発表原稿で工夫した点や難しかった点について振り返らせる。また、次時に友達に助言してもらいたい点についても書かせる。 	

本時の展開（本時 8・9/12）

（1）本時の目標

★ 地域でまちづくりに取り組んでいる方の意見を取り入れながら活動に取り組むことができる。

【資質・能力／郷土愛】

○ 提案内容が明確に伝わるように、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話すことができる。

【話すこと・聞くこと（イ）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	・ 学習計画に沿って本時のめあてを確かめる。	
	提案のよさが伝わる話し方の工夫を考えながら、プレゼンテーションの練習をしよう。		
考える 深める	2 聞き手を引き付ける話し方や資料の見せ方の工夫を考える。 ○ 聞き取りやすい声の大きさと速さ ・ 大切な言葉は強調してゆっくり ○ 聞き手の興味を引き付ける ・ 問いを投げかけて待つ ・ タイミングを考えて資料を提示する ・ 聞き手の反応を見ながら ○ 明確に伝わる発表原稿と資料 ・ 原稿と資料が合っている ・ 資料があることで効果がある	・ 呉高等工業専門学校の学生によるプレゼンテーションを思い出し、聞き手に提案のよさが伝わる話し方の工夫を考えさせる。 ◆ 話し方、資料の出し方という観点で、具体的に考えさせる。	
	3 話し方や資料の見せ方の工夫を考えながら話す練習を行い、グループで助言をし合う。 4 学級全体で、リハーサルを行う。 5 全体で気付きを交流する。	・ 前時までに用意した資料と話の構成を確かめて、プレゼンテーションの練習をさせる。 ・ 分担ごとのつながりに不自然なところはないかを確認させる。 ・ 練習の様子をビデオで撮影し、再生を見せて、気付きをメモさせるようにする。 ・ お互いに助言し合い、改善点を考えさせる。	
まとめる	6 友達からの助言を生かして、プレゼンテーションのスライドや発表原稿を修正したり、発表の練習をしたりする。 7 振り返りをする。	・ グループで協力して修正できるようにする。 ・ 助言を受け、修正した点や、発表するとき気を付けようと思う点について、振り返る。	○ 提案内容が明確に伝わるように、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話している。 (ビデオ・児童観察) ★ 地域でまちづくりに取り組んでいる方の意見を取り入れながら、活動に取り組んでいる。 (ノート・児童観察)

本時の展開（本時 10/12）

（1）本時の目標

- 提案内容がより明確に伝わるように、構成を工夫し、資料を生かして発表原稿を修正することができる。
【話すこと・聞くこと（イ）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に友達から助言してもらったことや、総合的な学習の時間に地域の方から助言していただいたことについて、自分のメモを見返して振り返らせる。 	
	発表原稿と資料を見直して、修正しよう。		
考える 深める	2 グループで、どのように修正するかを話し合う。 3 必要に応じて、自分の担当部分の修正をしたり、話す練習をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションのスライドと原稿を印刷したものを基に考えさせる。 ・ どのように修正するのか、実際に印をしたり、朱書きで書き直させたりする。 ・ 他のグループとのつながりも考えるようにする。 ・ グループで話し合ったことを基にして、パソコンを使って、プレゼンテーションを修正させる。 ◆ グループの友達同士で助け合いながら進めていけるようにする。 	
まとめる	4 学級全体で修正したプレゼンテーションをする。 5 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回と比べてどのような点が改善されているかを考えながら聞かせる。 ・ 自分たちの発表のよくなった点や他のグループのよくなった点について、振り返る。 	○ 助言を基に、提案内容がより明確に伝わるように、効果的な構成や資料活用を考えて、発表原稿を修正している。 (ビデオ・児童観察)

本時の展開（本時 11・12/12）

（1）本時の目標

- ★ 自分の地域の特性を生かし、地域の一員として貢献を意識して活動に取り組むことができる。

【資質・能力／郷土愛】

- 提案内容がより明確に伝わるように、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話すことができる。

【話すこと・聞くこと（イ）】

（2）本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案のよさが伝わるように、聞き手を意識してプレゼンテーションをすることを確認する。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">自分たちがえがいた「原の未来」についてプレゼンテーションをしよう。</div>		
考える 深める	2 地域の方の前でプレゼンテーションを行う。 3 地域の方に自分たちの提案について、質問や意見をいただく。 4 地域の方に質問や意見をいただいた感想やお礼を伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方からの質問や意見に対しての応答の仕方について、指導しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方に提案内容がより明確に伝わるように、構成や話し方、資料の活用の仕方を工夫して話している。(ビデオ・児童観察)
まとめる	5 本単元の学習を振り返り、感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ この学習を通して学んだことを国語科の内容と、郷土愛に関わる内容の両方で振り返られるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 自分の地域の特性を生かし、地域の一員として貢献を意識して活動に取り組んでいる。「ふり返り」の記述